



お元気ですか
志村 たかよし です

第541号 2011年5月22日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

— 集中豪雨などの水災に備えましょう —

中央区・消防合同 水防訓練を実施



広い会場では7種類の「水防工法」が実演されました = 5/14 晴海

5月14日、晴海で「水防訓練」が実施されました。
梅雨や集中豪雨、台風などの雨期を前にしたこの時期に毎年行われています。



マンホールを金属で囲み吹き出る水を防ぐ対策

この訓練には、区職員40名、消防職員141名、消防団員65名、災害時支援ボランティア16名が参加しました。
訓練の内容は、津波を想定しているものではありませんが、東日本大震災、とくに大津波の被害がまだまだ深刻な状況の時、訓練参加者も見学者も真剣でした。



見学者はそれぞれの工法を間近で見ることが出来ます



堤防を越える水を防ぐ「改良型積土のう工法」

東日本大震災 被災地 報告①

岩手県大槌町「吉里吉里」地区



高台から望む吉里吉里。リアス式海岸が美しい町だったのですが = 5/3撮影



明治三陸地震後に整備された高台の住宅まで、津波は襲いかかりませんでした。

3月11日に発生した大地震と大津波で未曾有の災害となった東北地方。さらに、福島原発の事故も収束の見通しがたたず、放射能汚染は深刻な広がりを見せています。

私の妻の実家は、岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里で、母親が独りで住んでいました。

三陸独特のリアス式入り江が美しい吉里吉里の町も大津波の被害を受けました。なかなか、お見舞いに行けませんでしたが、4月29日に東北新幹線が再開したこともあり、連休中に行きました。盛岡駅からレンタカーを借り、少しばかりの支援物資を載せて被災地にむかいました。



海（右写真の左方向）のそばに建っている下水処理施設の屋根に小型船が乗っていました。排気筒への引っかかり具合を見ると引き波の時にひっかったようです。



「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(090-6600-0900)